

平成27年3月2日

「幕張新都心における IR 導入可能性調査」報告書に対するご意見等への回答

宇留賀 英夫 様

日ごろより、市政へご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、平成27年2月22日付（2月16日付の訂正版として承ります）で頂きましたご質問について、下記のとおり回答いたします。

記

1. 外国人カジノ入場者数の設定について

- 新規開発型の場合は、幕張新都心にシンガポールの「マリーナ・ベイ・サンズ」並みの施設を導入するという想定なので、経済産業省のシンガポール IR に関するレポートからの情報が最も適していると考え、同レポートに記載されている2010年の外国人観光客数（1,164万人）とカジノ利用者数（1,800万人）を使用しています。
- 出所にある2つのIRの入込数は、いずれも経済産業省のレポートに1日当たりの入場者数をベースに年間入場数を想定しています。シンガポールへの外国人観光客は、せっかく来たのだから、距離的にも近い2つのIR双方に訪問したいものと考えて重複を想定し、それぞれ年間900万人と設定しています。
- このうち、後者の内国人利用者数（ブルーンバーグの記事から推計した数値が195万人、入場料が1人100Sドルという前提で推計）を差し引いた、外国人旅客数に対する外国人入場者の割合を算出しております。
 $(1,800 - 195) \text{ 万人} / 1,164 \text{ 万人} = 1.38$
- シンガポールに入国する外国人旅行者全員が、カジノへ1.38回訪問するというのは、あくまでも一定の条件設定における考え方です。

以上

千葉県総合政策局総合政策部 政策企画課幕張新都心室 TEL 043-274-8648 FAX 043-274-8649
--